

令和2年10月2日（金）

指導者 絹見 真史

1 単元名 けがの防止

2 授業づくりの構想

(1) 単元観

本単元は、「学校生活によるけがの防止」「交通事故や水の事故の防止」「犯罪被害の防止」「けがの手当て」で構成される。

日本では、交通事故や水の事故が毎年多く発生している。2019年の交通事故件数約38万件、水難事故件数は約1300件という膨大な数の事故災害が起きている。また、学校生活での事故、家庭・地域での事故や犯罪なども発生している。

しかし、これらの事故は、外的要因のみで起きることは少ない。的確な判断、危険予測がけがや事故、犯罪を防止するために重要となる。また、けがをしたときの正しい応急処置も大切である。本単元を通して、けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を身に付け、的確な判断のもと行動できるようにしたい。また、けがをしたときに、簡単な手当ての場合は自分でする力を身に付けたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童（男子12名、女子7名）は、活動的な児童が多い。休憩時間になるとほとんどの男子は校庭でサッカーをしたり、体育館でバスケットボールをしたりしている。女子はドッジボールをしたり、伝承遊びをしたりして過ごしている。しかし、校庭や体育館などの限られたスペースで多くの児童が入り交じって遊ぶため、いつけがが起きてもおかしくない状況にある。また、教室や廊下を走り、他の児童にぶつかったということも何度か起きている。

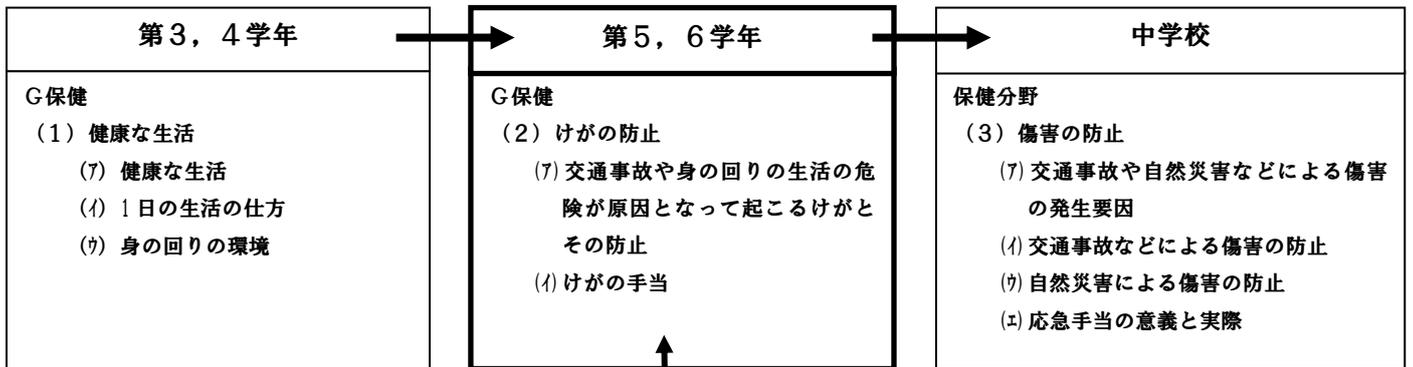
けがの防止についてのアンケートでは（5が最も肯定的な回答）、学校外では安全に生活を送るように心がけているが、学校内で安全に生活を送る意識は、学校外より低い傾向であった。

- ・学校でけがを防止する意識を持って生活していますか
平均3.8 5・4と答えた児童数…13人（72%）
- ・交通事故にあわないように心がけて生活していますか
平均4.5 5・4と答えた児童数…16人（88%）
- ・地域で安全に生活を送るよう心がけていますか
平均4.3 5・4と答えた児童数…16人（88%）

また、すり傷、鼻血、やけど、突き指・捻挫・打撲の正しい手当ての認知度は15.2%と低く、応急処置ができない状況である。

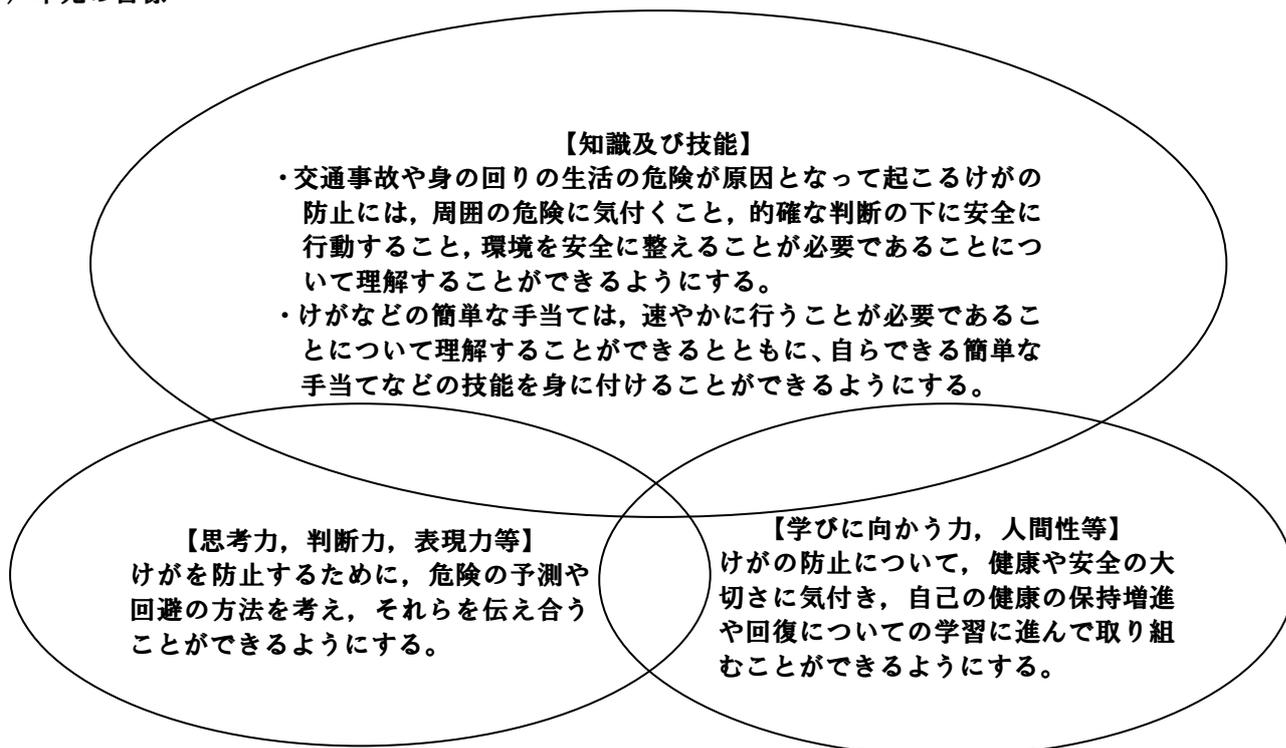
青谷小学校の4月から7月のけがでの保健室利用は17件だが、けがをしても保健室に行かず、そのままにしている児童も多い。

(3) 学習内容の系統性



関連する保健指導・教科等
 安全な登下校（学級活動）、交通事故から身を守る（学級活動）、身の回りの犯罪（学級活動）、休み時間の事故とけが（学級活動）、けがの種類と手当ての仕方（学級活動）、二十分間の出来事（道徳）、船上山宿泊学習（学校行事）

(4) 単元の目標



(5) 学びへの働きかけ

- イラストをもとに、自分たちの生活の様子を振り返り、よりよく生活するために意見を交換する。
- ・学校生活での危険な場面、車の視点、歩行者の視点など、さまざまな場面のイラストや写真を用意し、何が危険なのか、事故から回避するためにはどうしたらよいのかを考える。
- ・危険予測とその回避について重点を置いて考え、意見を交換する。
- 安全に生活を送ることができるよう、様々な取り組みが行われていることを写真・動画で確認する。
- ・交通安全施設、自転車の安全点検やポスター、水の事故、犯罪被害を防止するための様々な取り組みが行われていることを知る。
- 簡単なけがの手当ての仕方を学び、実際に手当てをする。
- ・養護教諭が簡単なけがの手当ての仕方を実演する。
- ・ペア活動でけがの手当てをする中で、手当ての仕方を教え合ったり、アドバイスをしたりすることで、簡単なけがの手当ての仕方を身に付ける。
- 正しい判断、安全な環境がけがを防ぐために大切であることを確認する。
- ・「わたしの安全せん言」で、これからの生活で気を付けたいことを考え、意見を共有する。

(6) 単元の流れ及び評価の計画

		1	2	3	4 (本時)
主なねらい		<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域での事故やけがについて話し合い、本単元の学習の見通しを持つ。 学校生活でのけがの原因には、人の行動や周りの環境が関わっていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故を防ぐには、周りをよく確認し、危険に早く気づき、正しい判断で安全に行動する必要があることを理解する。 交通事故を防ぐための環境が整えられていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で安全に過ごすためには、危険に早く気づき、正しく判断して安全に行動したり、環境面を確認したりすることが必要であることを理解する。 水の事故や犯罪被害から守るために、さまざまな環境整備がされていること理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> けがの状況の的確な判断と手当ての方法について学習するとともに、けがの手当てを実践することで、簡単な手当ての仕方や対処方法を理解する。 単元全体を振り返り、これからの生活に役立てたいことを話し合い、継続的に実践していく気持ちを持つ。
学習活動		<ul style="list-style-type: none"> イラストをもとに、けがや事故、犯罪被害などについて話し合い、学習課題を明確にする。 イラストをもとに危険予測をするために、学校生活での経験を話し合い、防ぐ方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストや動画をもとに、自分の経験などを話し合い、交通事故の原因となる行動や状況を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料やグラフ、イラストをもとに、水の事故や犯罪被害につながった環境や行動について話し合い、水の事故や犯罪被害の原因と防ぐ方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でもできる簡単なけがの手当てについて、養護教諭の指導のもと実習し、ペアで手当ての仕方を確認し合う。 自分の身を守るために気を付けたいことを「わたしの安全せん言」でまとめ、意見を共有する。
評価の計画	知・技		①	②	③
	思・判・表	①	①	①	②
	主	①			

具体的な評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ①交通事故の原因と、事故を防ぐための方法や取り組みを理解している。 ②水難事故や犯罪被害を防ぐための方法や取り組みを理解している。 ③けがをしたときに、けがの悪化を防ぐ対処として怪我の種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握し、そのけがに合った手当てをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 ②「わたしの安全せん言」で自分の身を守るためにこれからの生活で気を付けていきたいことを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①けがの防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

3 本時の学習 (4/4)

- (1) 目標 **けがの状況の的確な判断と手当ての方法について学習するとともに、けがの手当てを实践することで、簡単な手当ての仕方や対処方法を理解することができるようにする。【知識及び技能】**

けがの防止について、けがの手当ての仕方から課題を見付けることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

単元全体を振り返り、これからの生活に役立てたいことを話し合い、継続的に実践していく気持ちを持つことができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

- (2) 準備

掲示物、手当ての道具、くじ、ワークシート

- (3) 展開

学習活動	○指導上の留意点・支援 ★評価 (方法)
<p>1. もし、けがをしてしまったとき適切な手当てができるか考える。</p> <div data-bbox="219 463 672 608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どれだけ注意していたつもりでも、けがをしてしまうことがあるかもしれません。もし自分自身がすり傷、鼻血、やけど、突き指・捻挫・打撲をしてしまったとき、適切な手当てができますか。</p> </div>  <div data-bbox="974 454 1330 608" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>すり傷ならなんとなく予想できるけど、捻挫ややけどは適切な手当てをする自信がないな。</p> </div> <div data-bbox="1358 454 1660 608" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>自分たちが正しいと思っていたけがの手当ては間違っているものが多いんだね。</p> </div>	<p>○アンケートの結果から、手当ての仕方がわからなかったり、間違った手当ての仕方であえたりしている児童が多いことを確認する。</p> <p>○アンケートにあった間違った手当の例をいくつか挙げ、適切でない手当てをすることでどのような影響があるのか伝える。</p> <p>○自分や近くの人がけがをしてしまった場合、自分や他人を助けるためにも正しい手当ての知識が必要となってくることをおさえる。</p>
<p>2. 学習課題を把握する。</p> <div data-bbox="535 647 1413 705" style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>けがの手当ての仕方を知り、実際に手当てができるようになるろう。</p> </div> <div data-bbox="219 743 782 811" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もしけがをしてしまったら、重症化しないように正しい手当てをしないとけないね。</p> </div>	
<p>3. けがをしたとき、どのような判断をしたらよいのか考える。</p> <div data-bbox="178 888 644 975" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>出血の状況によって対応が違ってくるね。〈知〉</p> </div> <div data-bbox="686 888 1166 994" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>大きなけがをしたときは、周りの人に助けを求めることが大切だね。〈知〉</p> </div> <div data-bbox="1193 830 1673 956" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>自分で手当てができそうないけがの場合は、速やかに手当てをすることが大切だね。〈知〉</p> </div>	<p>○P24のフローチャートをもとに、けがの状況を的確に判断する方法について調べるとともに、どのように対処すればよいのか理解できるようにする。</p> <p>○「自分で手当てする」ということに着目して、簡単な手当ては自分でできることに気づき、次の学習活動につなげる。</p>
<p>4. 自分でできる簡単な手当てについて知る。</p> <div data-bbox="205 1091 754 1207" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>養護教諭が簡単にできそうな適切な処置の仕方を見せてくれたね。〈みる〉</p> </div>  <div data-bbox="974 1052 1358 1149" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>やけどをしたときの適切な手当ての仕方がわかったよ。〈知〉</p> </div> <div data-bbox="1221 1130 1660 1246" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>自分がいつもしていた鼻血の手当ての仕方が間違っていたことがわかったよ。〈知〉</p> </div>	<p>○すり傷、鼻血、突き指・捻挫・打撲の正しい手当ての仕方についての映像を流しながら養護教諭が説明する。</p> <p>○手当てのポイントとなる所を掲示する。</p>
<p>5. 実際に手当てのデモンストレーションをペアでする。</p> <div data-bbox="178 1304 672 1458" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>説明を聞いたときは難しそうと思ったけど、友達を手当てをしている様子を見てわかったよ。〈みる〉</p> </div>  <div data-bbox="809 1284 1221 1381" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>友達に、手当てのこつを教えてあげたよ。〈支〉</p> </div> <div data-bbox="1138 1362 1605 1477" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>実際に手当てをしてみると、説明で聞いたよりも難しかったよ。〈する〉</p> </div>	<p>○すり傷 (出血量の多い場合と少ない場合の2種類)、鼻血、突き指・捻挫・打撲の4枚のカードから1枚を引き、引いたけがの手当ての仕方を説明しながら実践する。ペアの人はソーシャルディスタンスを保ちつつ、アドバイスをしたり、難しいところを手伝ったりする。</p> <p>★けがをしたときに、けがの悪化を防ぐ対処としてけがの種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握し、そのけがに合った手当てをすることができる。【知識・技能】</p> <p>○やけどの手当ては、映像を流して養護教諭が説明する。</p>
<p>6. 単元の学習内容を振り返り、「わたしの安全せん言」をする。</p> <div data-bbox="301 1555 1358 1671" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>けがをしたときは、けがの様子を速やかに判断し、自分で手当てができるけがの場合は、すぐに手当てをすることが大切。</p> </div> <div data-bbox="219 1671 864 1758" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>けがをしないように気を付けて生活を送りたいです。</p> </div> <div data-bbox="1056 1671 1660 1758" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>もしけがをしても、適切な判断や手当てができるようにしたいです。</p> </div>	<p>○単元全体を振り返り、けがを防止するために、危険の予測や回避が大切であること、もしけがをしてしまった際は、速やかな判断、適切な処置が大切であることを確認する。</p> <p>○「わたしの安全せん言」の発表はペアで行い、その後全体で共有する。</p> <p>★④「わたしの安全せん言」で自分の身を守るためにこれからの生活で気を付けていきたいことを伝え合っている。【思考・判断・表現】</p>